



## ベトナム人の「食べる」お正月

北陸銀行 国際部  
ホーチミン駐在員事務所  
グエン・ゴク・ビン・アン

### 1. はじめに

皆さんは、「お正月を食べる」という表現を聞いたことがあるでしょうか。

面白いことに、ベトナムでは新年を迎えることを「祝う」とは言わず、「食べる」と言います。このユニークな言い回しは、ベトナムの人々の生活文化や価値観を色濃く反映しており、食事が非常に大切な存在であることを表しています。

今回は、ベトナムのお正月を通して、ベトナム語の表現が示す独特な意味合いについてご紹介します。

### 2. 「食べる (ăn)」という言葉に込められた意味

ベトナムでは、お正月を「テト (Tết)」と言い、お正月を迎えることを「テトを食べる (ăn Tết)」と表現します。この「食べる」という言葉は、結婚式や誕生日会などの祝い事の際にも使われます。食事を共にすることが、人と人との絆を深め、場の雰囲気をやかにする大切な行為と考えられているためです。

テトには、家族や親しい友人と一緒に過ごし、食卓を囲みながら一年の振り返りと新しい年への希望を語り合います。時間や喜びを分かち合うことを大切にするベトナム人の価値観が、「お正月を食べる」という表現に表れているのです。

### 3. 年に2回のお正月

ベトナムでは1年に2回、お正月のお祝いが催されます。

#### (1) 旧暦のお正月「テト・グエン・ダン (Tết Nguyên Đán/新年の節句)」

もともとベトナムでは、自然の循環や移ろいゆく季節を大切にする農耕文化を背景に、旧暦のお正月「テト・グエン・ダン」を盛大に祝ってきました。毎年日付が変わるため、1月下旬から2月中旬の間で調整されますが、2026年は2月17日となり、テトの休暇期間は2月14日から2月22日までの9連休でした。

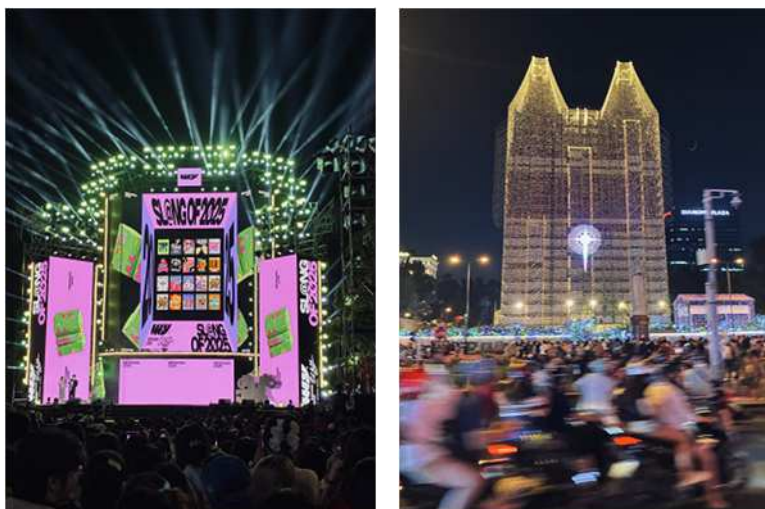
テト・グエン・ダンには、多くの企業や商店は長期休暇に入り、街は華やかな装飾で

彩られます。各家庭では、お供え物や御馳走を用意し、家族や親戚が大勢集まり先祖を祀って新年の幸運や健康を祈ります。伝統儀礼が各地で行われ、ベトナム人にとって一年で最も重要な祝祭行事になります。

## (2) 新暦1月1日のお正月「テト・テイ (Tết Tây/西洋の正月)」

フランス植民地時代には新暦が導入され、国際化の進展とともに都市部を中心に新暦のお正月「テト・テイ」の風習が徐々に定着していきました。テト・テイの期間中でも多くの商店や飲食店は通常通り営業しており、クリスマスシーズンとも重なるため、街全体が華やぎ、新年を迎える高揚感に包まれています。

テト・テイには、年越しのカウントダウンイベントや音楽フェスティバル、歩行者天国の実施など、さまざまな催しが開催されます。市中心部の屋外ステージでは国内外のアーティストがパフォーマンスを披露し、若者たちは音楽と光に包まれながら新年を迎えます。特に、新暦の大晦日に打ち上げられる花火は、多くの市民が楽しみにしている恒例行事の一つです。温暖な気候も相まって、屋外で新年を祝う文化が定着しています。



【2025年末のイベントの様子(左)と中心街のライトアップ(右)】(筆者撮影)

## 4. おわりに

ベトナムでは、家族や友人、同僚など、大勢で集まり賑やかに過ごす時間を大切にする文化が古くから根付いています。皆が集う祝い事の中心には必ず食事があり、「祝う＝食べる」という表現が自然と浸透していったのかもしれませんが。

急速な国際化が進む現代においても、「食べる」ことで人と人とのつながりを大切にする文化は変わりません。ベトナムのお正月は、伝統と変化が調和する社会の姿を映し出しています。

＜ご注意＞文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp